

付録 11 管理資料情報取出について

1. 配信方法

NACCS においては管理資料情報を全て電子データ（CSV 形式または固定長デリミター方式）で利用者に配信する。

管理資料情報の配信に際しては、配信に要する転送時間の短縮、センターサーバ設備のシステム負荷の軽減、及びセキュリティ面の観点から、通信プロトコルに HTTP/HTTPS を採用し、管理資料情報を管理資料情報取出サーバ経由で、利用者へ配信する。

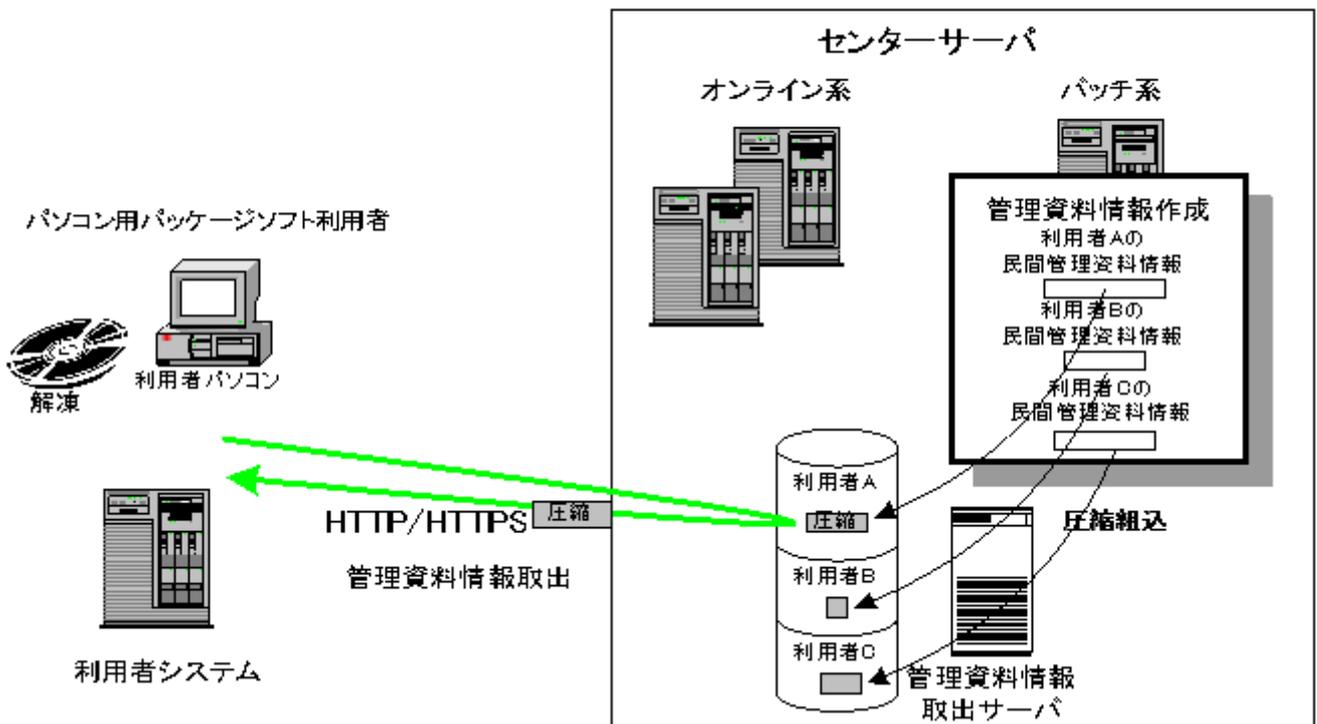
利用者は予め決められた管理資料情報の配信日時（以降）に、「管理資料情報取出」を実施し管理資料情報を取り出すこととする。なお、旧 Sea-NACCS において DST 業務を用いて、QDS（配信型電文キュー）に蓄積された電文を取り出していた処理は、本システムでは、以下の取り出し方法を用いて取出す必要がある。

2. 取得可能な利用者

パソコン用パッケージソフト利用者及び HTTP による管理資料情報を転送する機能と圧縮されたファイルを解凍する機能を有する自社システム利用者は、管理資料情報を取り出すことができる。

3. 取り出し方法

パソコン用パッケージソフト利用者は、パッケージソフトのメニューより「管理資料情報取出」を実施することにより、HTTP（netNACCS 利用者は HTTPS）による転送や圧縮ファイルの解凍を意識することなく管理資料情報を取り出すことができる。自社システム利用者による管理資料情報の取出手順は「付録 11 §. 管理資料情報取出手順（自社システムを用いた場合）」に示す。管理資料情報取出の配信イメージを付図 11-1 に示す。



付図 11-1 管理資料情報取出の配信イメージ図

4. 保存期間

利用者が取り出していない管理資料情報(随時報含む)については、管理資料情報取出サーバに組込まれた日を含めて7日間(土日祝日を含む)、当該サーバ内に保存する。

また、ゴールデンウィーク、年末年始においては、旧システムと同様に NACCS センターで別途保存期間の設定変更を行う。

利用者が取り出した管理資料情報(随時報は除く)については再配信用のディレクトリに移動され、配信された日を含めて62日間(土日祝日含む)当該サーバ内に保存しているため、管理資料情報再取出要求を行うことで再度取り出すことが可能である。(随時報については利用者が取り出した翌日に削除する。)

センターサーバの管理資料情報取出サーバ内に滞留した管理資料情報については、当該サーバ容量の制約から利用者は配信日時(以降)に速やかに取り出しを行わなくてはならない。

5. ファイル形式及び使用する表計算ソフト

管理資料情報は、一部資料(一括納付書情報等は固定長デリミター方式)を除き利用者が市販の表計算ソフトを使用して編集加工ができるよう、CSV形式で提供する。CSV形式の管理資料を作成するにあたり、NACCSでは特定の表計算ソフト(Microsoft Excel 2003)をモデルとしてデータをCSV形式で作成する。市販の表計算ソフトの種類によっては、表示方法の扱い等に違いがあるために、当該市販ソフトの表示形式が業務仕様書に示されたイメージと異なる場合がある。

6. 再配信方法

NACCSにおいては配信済みの管理資料情報(随時報は除く)を全て管理資料情報取出サーバに一定期間(配信された日を含めて62日:土日祝日含む)保存している。利用者は、パソコン用パッケージソフトの「管理資料情報再取出」で再取出ししたい管理資料情報を指定することにより、取出することができる。

7. 保税管理資料再出力依頼

7.1 業務概要

保税管理資料情報については、「保税管理資料再出力情報登録・変更（DLH01）」業務により登録された再出力依頼情報に基づき、保税管理資料再出力処理が自動的に起動され、指定された管理資料情報を再出力する。対象となる保税管理資料情報を、付表11-1に示す。

付表 11-1 再出力対象保税管理資料情報一覧

項番	管理資料名	出力情報コード	周期	備考
1	航空輸入貨物搬出入データ	ABS6900	日報	
2	航空輸入貨物取扱等一覧データ	ABS7000	日報	
3	航空輸出貨物取扱等一覧データ	ABT6300	日報	
4	航空輸出貨物搬出入データ	ABT6400	日報	
5	輸入貨物搬出入データ	SBS1400	週報	月曜日配信
6	貨物取扱等一覧データ	SBS1700	週報	火曜日配信
7	輸入貨物コンテナ関連データ	SBS1800	週報	月曜日配信
8	輸出貨物搬出入データ	SBT0200	週報	火曜日配信
9	輸出貨物コンテナ関連データ	SBT0500	週報	火曜日配信

7.2 再出力可能利用者

システムに保税管理資料情報再出力可能者として、登録されている利用者のみ再出力可能である。

7.3 保存期間

当初管理資料が配信されてから5年間サーバ内に保存する。

7.4 再出力された管理資料の取出し方法

再出力された管理資料情報の取出し方法については「3. 取出し方法」と同様である。ファイル名体系については「8.2.3 管理資料情報ファイル名体系」と同様である。

8. 管理資料情報取出手順(自社システムを用いた場合)

8.1 通信仕様

NACCS における管理資料情報取出しの通信プロトコルとして、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層には HTTP を採用する。

8.1.1 HTTP送受信仕様

(1)HTTP のリクエスト・レスポンス

管理資料情報取出しにおいて、センター送信時に使用できる HTTP リクエストのメソッドを付表 11-2 に示す。

付表 11-2 管理資料情報取出しの際に使用するメソッド

項番	メソッド	概要	センター側管理資料情報取出サーバの応答(正常レスポンス)
1	POST	センター側管理資料取出サーバに処理要求を行い結果を取得する。 本仕様において、10.1.1(2)の処理要求電文が存在するが、いずれも POST メソッドにて処理要求を行う。	正常レスポンスとして 200 及び処理結果を返す。

(注) 本仕様において使用する HTTP リクエストのメソッドは POST のみである。

(2)処理要求電文の種類

管理資料情報取出しでは、利用者システムとセンター側管理資料情報取出サーバにおいて、付表 11-3 に示す処理要求電文が存在する。各処理要求電文にはその処理結果電文があり HTTP リクエストのレスポンスとして利用者システムに送信される。

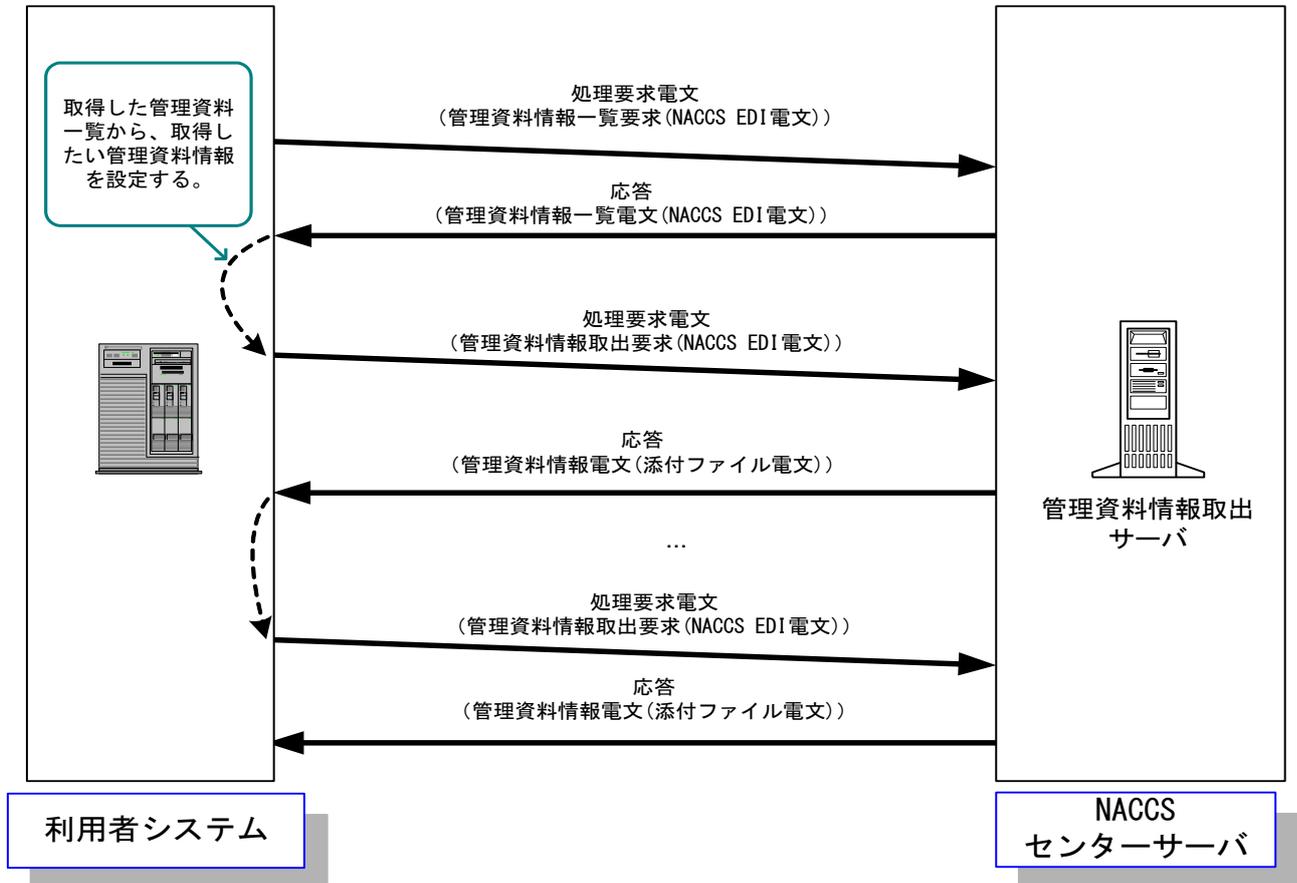
付表 11-3 処理要求電文の種類

項番	電文の種類	説明
1	管理資料情報一覧要求	センター側管理資料情報取出サーバに蓄積されている管理資料情報の一覧を取得する。
2	管理資料情報取出要求	センター側管理資料情報取出サーバに蓄積されている管理資料情報の取出しを行う。
3	管理資料情報再取出要求	センター側管理資料情報取出サーバに蓄積されている管理資料情報の再取出しを行う。

8. 1.2 管理資料情報取出のシーケンス

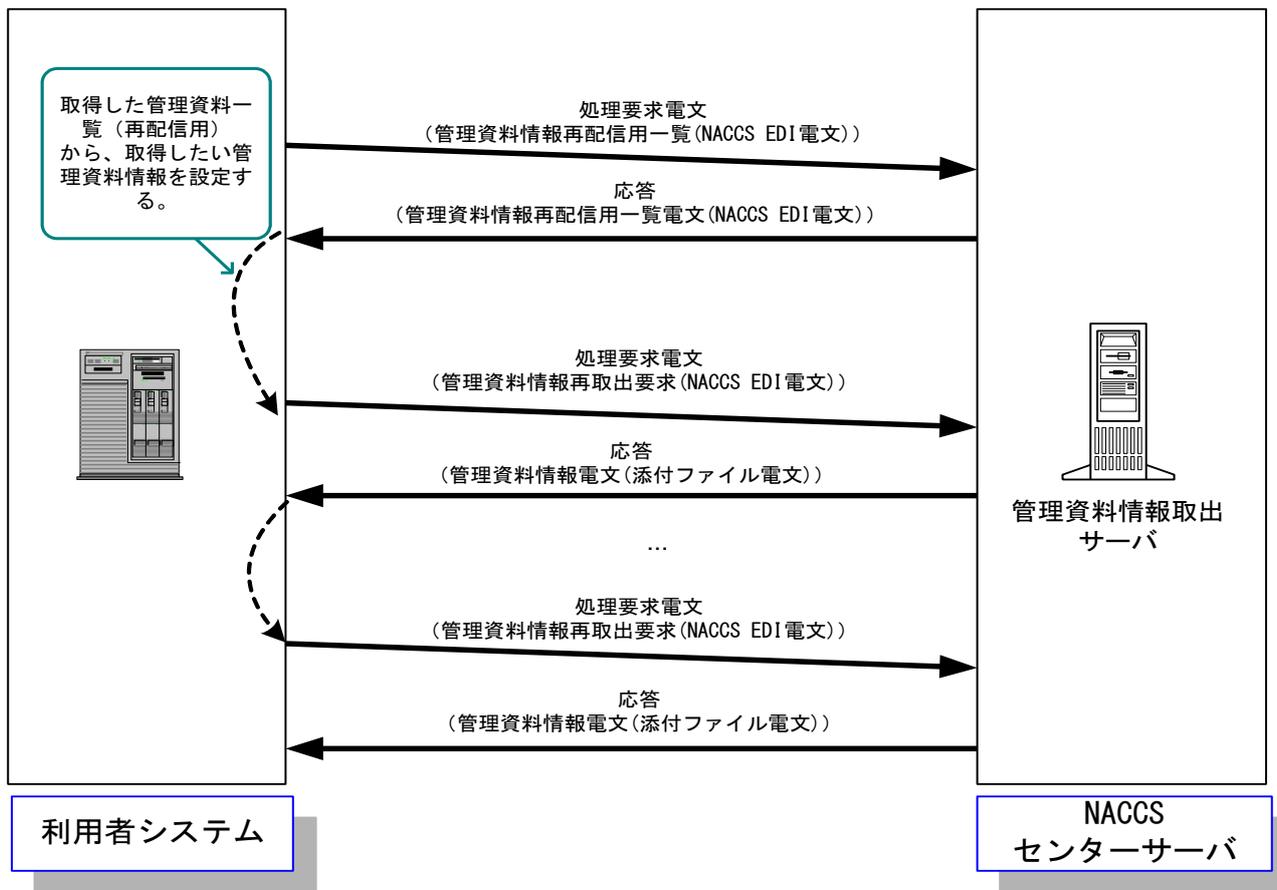
(A) 業務シーケンス

利用者システムからの管理資料情報取出しの際のシーケンスを付図 11-2 に、管理資料情報再取出しの際のシーケンスを付図 11-3 に示す。



付図 11-2 管理資料情報取出のシーケンス

- ① 利用者システムは管理資料情報取出サーバに向けて、管理資料情報の一覧を取得するための要求電文を送信する。
- ② 管理資料情報取出サーバは利用者システムからの要求を受け、格納されている管理資料情報ファイル名とファイルサイズを取得する。
- ③ 管理資料情報取出サーバは検索結果を利用者システムに返却する。
- ④ 利用者システムは、管理資料情報一覧の中から取得したい管理資料情報を設定する。
- ⑤ ④の利用者システムからの要求に基づき、管理資料情報取出サーバに管理資料情報取出要求電文を送信する。
- ⑥ 管理資料情報取出サーバは、要求電文に基づき管理資料情報を取得する。
- ⑦ 管理資料情報取出サーバは取得した管理資料情報を利用者システムに向けて送信する。



付図 11-3 管理資料情報再取出のシーケンス

- ① 利用者システムは管理資料情報取出サーバに、管理資料情報の再取出しを行うために、管理資料情報再配信用一覧を取得するための要求電文を送信する。
- ② 管理資料情報取出サーバは利用者システムからの一覧要求を受け、ファイルを検索する。
- ③ 管理資料情報取出サーバは検索結果を利用者システムに返却する。
- ④ 利用者システムは、管理資料情報一覧の中から再取出しをする管理資料情報を設定する。
- ⑤ 利用者システムからの要求に基づき、管理資料情報取出サーバに管理資料情報再取出要求電文を送信する。
- ⑥ 管理資料情報取出サーバは、要求電文に基づき取出し済みの管理資料情報を取得する。
- ⑦ 管理資料情報取出サーバは取得した管理資料情報を利用者システムに向け送信する。

(B) 留意事項

- (1) 管理資料情報取出業務における電文構造
 - ・管理資料情報取出業務で使用する電文フォーマットは、添付ファイル電文とする。
 - 添付ファイル電文の詳細については、3章を参照のこと。
 - ・管理資料情報取出業務と、管理資料情報再取出業務は、異なる業務コードとする。
- (2) ファイル圧縮形式について
 - 管理資料情報は、センター側には GZIP 圧縮状態で保存されており、その状態で転送される。そのため、利用者システム側で GZIP 圧縮ファイルを解凍する必要がある。
- (3) 管理資料情報取出時の認証について
 - 管理資料情報取出サーバは、利用者システムからの受信電文 (NACCS EDI 電文) に設定されている利用者コード (5 桁) + 識別番号 (3 桁) とパスワードを用いて、利用者認証を実施する。管理資料情報取出は、当該利用者コードでのみ行うことができる。
 - 認証エラーの場合は、利用者システムに向けて認証エラーの旨のメッセージを返却する。
- (4) 管理資料情報取出し機能について
 - NACCS センターが示す、管理資料情報取出しのインターフェースを自社システムで実装し、HTTP で接続することにより、取出しを実施することが可能となる。

8.2 電文仕様

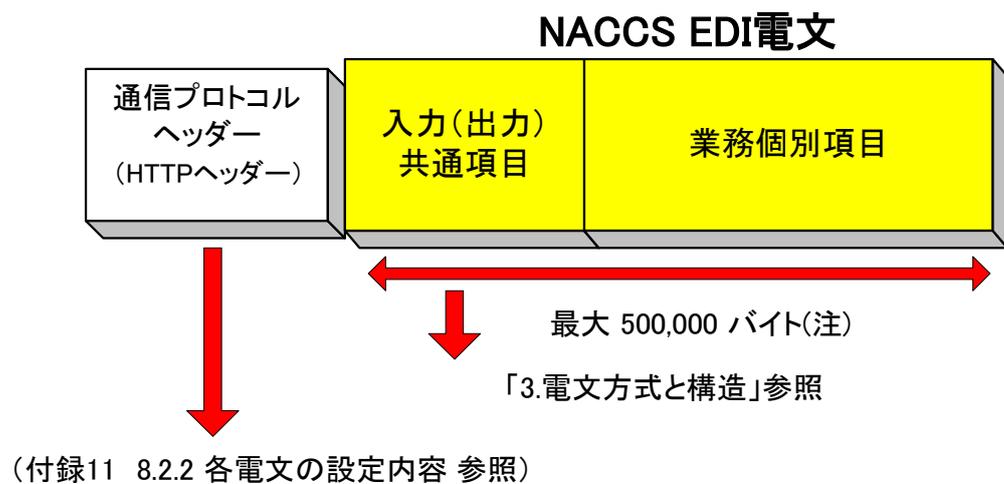
管理資料情報取出しでは、NACCS EDI 電文、添付ファイル電文の電文形式を利用する。

8.2.1 電文構造

以降に各形式の電文構造の概要を示す。

(1) NACCS EDI 電文の場合

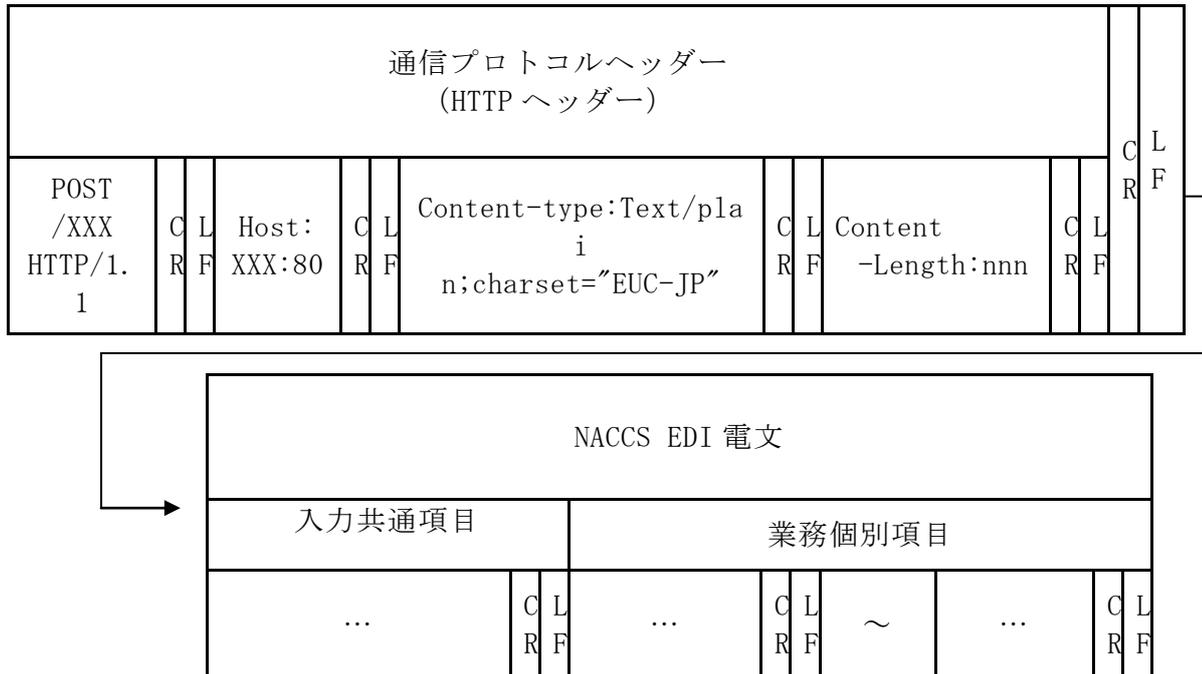
管理資料取出しでは、処理要求電文ならびに処理結果電文に、NACCS EDI 電文を使用する。NACCS EDI 電文の概要を付図 11-4 に示す。



付図 11-4 NACCS EDI 電文の概要

①処理要求電文

利用者システムが、処理要求電文（管理資料情報一覧要求、管理資料情報取出要求、管理資料情報再取出要求）をセンター側管理資料情報取出サーバへ送信する電文の形態を、付図 11-5 に示す。

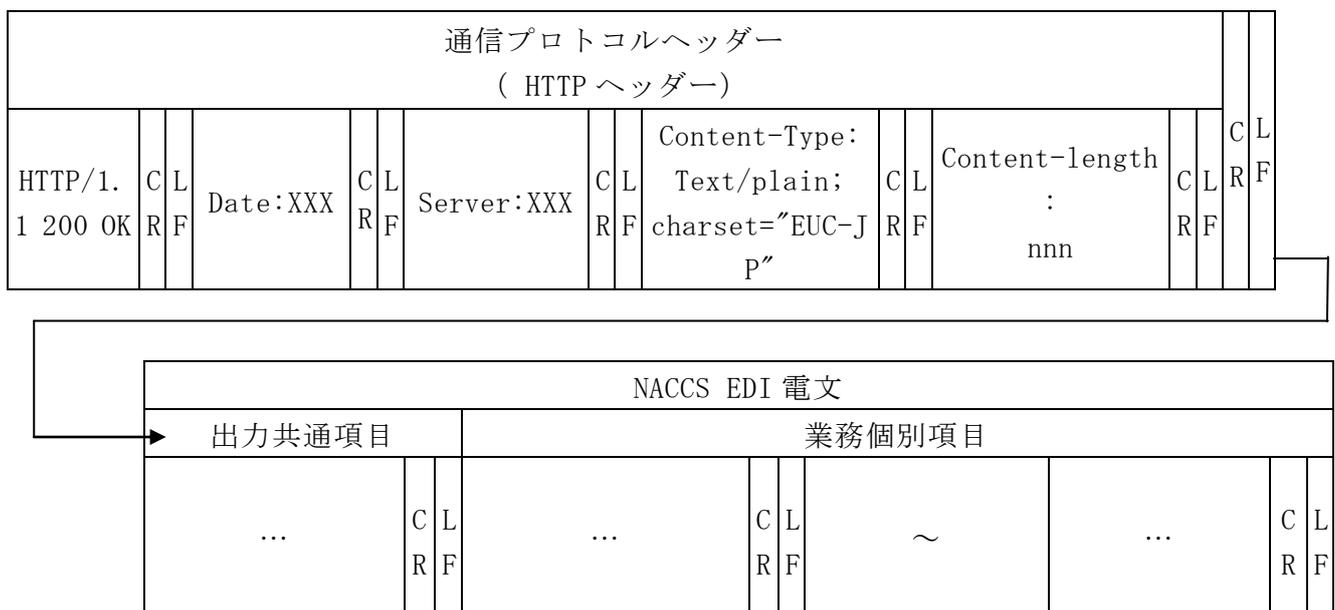


付図 11-5 電文の内容

②処理結果電文

利用者システムの処理要求電文に対して、センター側管理資料情報取出サーバが処理結果電文（管理資料情報一覧電文・管理資料情報電文（エラー））を返す際の電文の形態を、付図 11-6 に示す。

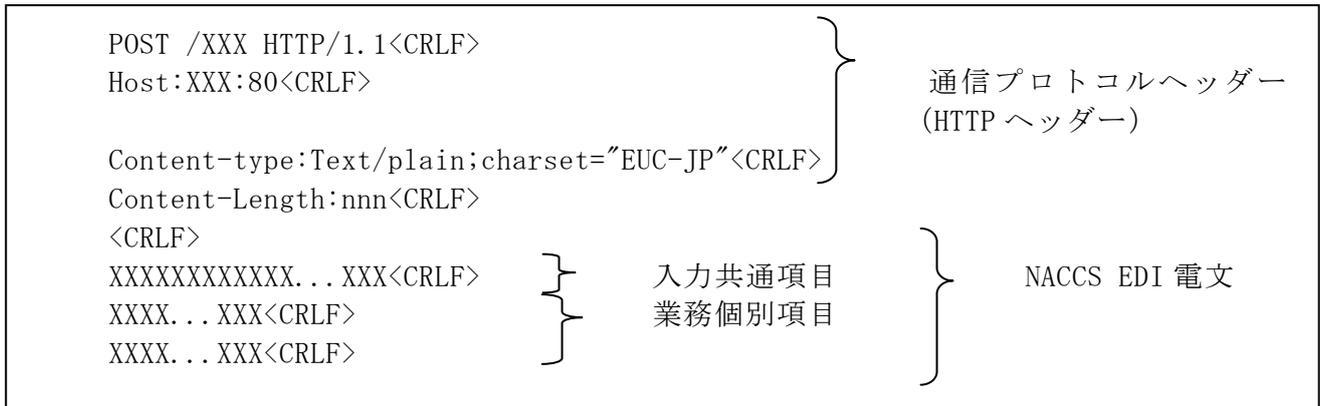
なお、管理資料情報は GZIP 形式で圧縮された添付ファイルとして利用者システムに返されるため、管理資料情報を含む処理結果電文については、後述の付図 11-7 を参照。



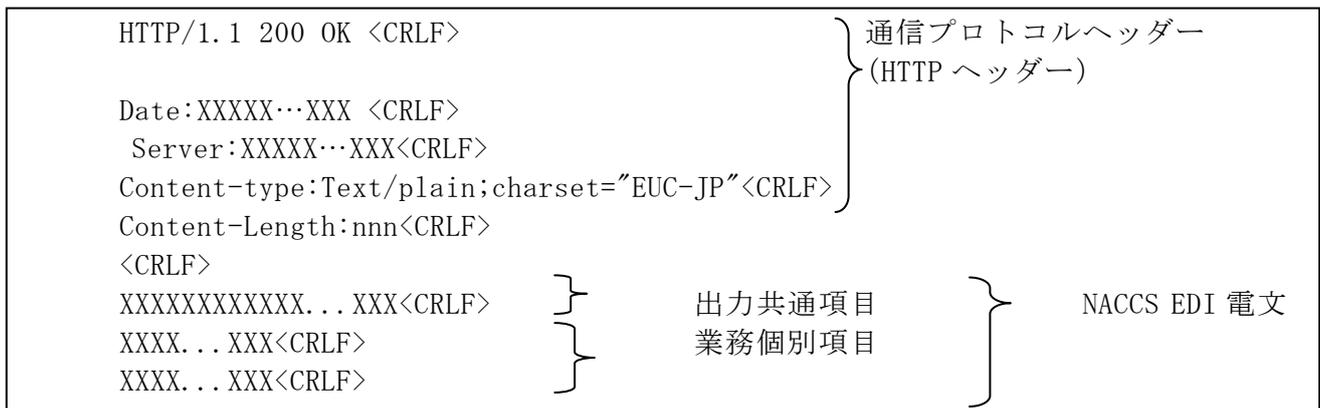
付図 11-6 電文の内容

(参考) 上記の電文構造をワープロソフト、エディター等を見た場合、以下のようになる。

処理要求電文



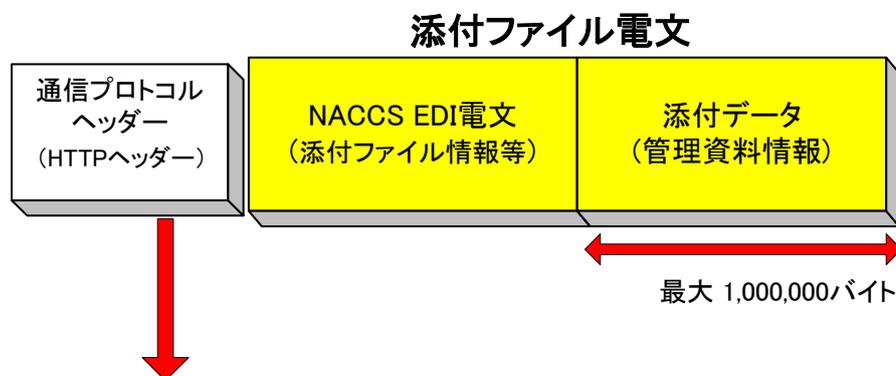
処理結果電文



(注) 「<CRLF>」については、エディター等により見え方が異なることがある。

(2) 添付ファイル電文の場合

管理資料情報は添付ファイル電文として利用者システムに返される。添付ファイル電文の概要を付図 11-7 に示す。



(「付録11 8.2.2 各電文の設定内容」参照)

付図 11-7 添付ファイル電文の概要

センター側管理資料情報取出サーバが管理資料情報を利用者システムへ送信する際は以下の形態となる。詳細は、付図 11-8 に示す。

① 格納方法

NACCS では、管理資料情報の送信時に MIME (Multipurpose Internet Mail Extensions) を使用する。管理資料情報は添付ファイルの形式で格納される。

添付ファイル電文送信時の詳細規定は以下のとおりとする。

- MIME のバージョンは 1.0 が設定される。
- Content-Type は Multipart/mixed とし、NACCS 電文部は Text/plain が設定され、添付ファイル部は application/octet-stream が設定される。
- 添付ファイル部の Content-Transfer-Encoding は、BASE64 を指定する。
- Content-Disposition には、attachment を設定し、filename にはファイル名が設定される。
- 1 ファイルは、1 つの管理資料情報で構成される。
- 添付データは 1 添付ファイル電文につき 1 ファイルとする。

② 電文イメージ

- 添付ファイル電文は、通信プロトコルヘッダー、本文から成る。
- HTTP ヘッダーの後の<CRLF>の後ろに、NACCS EDI 電文、BASE64 でエンコードした添付ファイル本体を設定する。

通信プロトコルヘッダー (HTTP ヘッダー)											
HTTP/1.1	200	OK	Date:XXX	Server:XXX	Content-length:nnn	Mime-Version:1.0	Content-Type:multipart/mixed; boundary="YYYYYY"				

本文											
テキスト						テキスト					
-	-	YYY	Content-Type:Text	Content	NACCS						
(ハイフン)	(ハイフン)	YYY	/plain;	-Transfer	EDI 電文を						
			charset="EUC-JP"	-Encoding:	参照のこ						
				8bit (注)	と						

本文											
添付ファイル部											
-	-	YYY	Content-Type:applic	Content-	Content-Dispos						
(ハイフン)	(ハイフン)	YYY	ation/octet-stream;	Transfer	ition:attachme						
			name="ファイル名";	-Encodin	nt;filename="						
				g:BASE64	ファイル名 "						

本文											
添付ファイル部											
添付ファイル本体											

注) 当該項目の設定値はメールソフトに依存する。"8bit" は一例。

付図 11-8 添付ファイル電文の構造例

8.2.2 各電文の設定内容

各電文の設定内容について以下に示す。

(1) 管理資料情報一覧要求電文の設定

①HTTP ヘッダー

管理資料情報一覧要求電文における HTTP ヘッダーの設定内容を付表 11-4 に示す。

付表 11-4 HTTP ヘッダー（管理資料情報一覧要求電文）

項番	項目	設定内容
1	リクエストライン	POST /naccs/os HTTP/1.1<CRLF> リクエストメソッドは POST を設定する。 HTTP バージョンは HTTP/1.1 を設定する。 設定されていない場合はエラーとなる。
2	HOST	HOST:IP アドレス 80<CRLF> ポート番号は 80 番を指定する。 設定されていない場合はエラーとなる。
3	Content-Type	Content-Type:Text/plain; charset="EUC-JP"<CRLF> 固定。
4	Content-length	Content-length:nnn<CRLF> nnn に送信電文のメッセージサイズを設定する。 設定されていない場合はエラーとなる。

②入力共通項目

管理資料情報一覧要求電文における入力共通項目の設定内容を付表 11-5 に示す。

付表 11-5 入力共通項目（管理資料情報一覧要求電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	(予約エリア)	3	(スペースを固定設定)
2	業務コード	5	?LST△ (△は半角スペース)
3	(予約エリア)	21	(スペースを固定設定)
4	利用者コード	5	利用者コード、識別番号、利用者パスワードを設定し、利用者の識別に使用する
5	識別番号	3	
6	利用者パスワード	8	
7	(予約エリア)	319	(スペースを固定設定)
8	システム識別	1	(2を固定設定)
9	(予約エリア)	27	(スペースを固定設定)
10	電文長	6	NACCS EDI 電文の長さを示す(入力共通項目を含む)000409 (固定)

③業務個別項目

管理資料情報一覧要求電文における業務個別項目の設定内容を付表 11-6 に示す。

付表 11-6 業務個別項目（管理資料情報一覧要求電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	出力情報コード	7	通常取出し時はスペースを設定する。 再取出し時は取出し対象の出力情報コードを設定 (注)
2	デリミター	2	<CRLF>を設定

(注) 再取出しの対象は多量になることが想定されるため出力情報コードで絞り込む方式とする。

したがって、再取出しの際は出力情報コードを設定する。

(2) 管理資料情報一覧電文の設定

① HTTP ヘッダー

管理資料情報一覧電文における HTTP ヘッダーの設定内容を付表 11-7 に示す。

付表 11-7 HTTP ヘッダー (管理資料情報一覧電文)

項番	項目	設定内容
1	ステータスライン	HTTP/1.1 200 OK<CRLF> HTTP バージョンは HTTP/1.1 が設定される。
2	Date	メッセージ生成時の日付、時分秒が設定される。 (RFC1123 形式)
3	Server	送信サーバ情報が設定される。
4	Content-Type	Content-Type:Text/plain; charset="EUC-JP"<CRLF> 固定。
5	Content-length	Content-length:nnn<CRLF> nnn に送信電文のメッセージサイズが設定される。

② 出力共通項目

管理資料情報一覧電文における出力共通項目の設定内容を付表 11-8 に示す。

付表 11-8 出力共通項目（管理資料情報一覧電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	(予約エリア)	3	(注 1)
2	業務コード	5	処理要求電文と同じ業務コードが設定される (?LST△ (△は半角スペース))
3	出力情報コード	7	正常時：CAQ0160 業務エラー時：*C?LST△ 共通エラー時：*CCMSG△ (△は半角スペース)
4	電文受信日時	14	電文受信日時が設定される (yyyymmddhhmm△△)
5	利用者コード	5	電文を受信する利用者の利用者コードが設定される
6	(予約エリア)	211	(注 1)
7	電文 制 御 情 報	分割通番	3 正常時：001 エラー時：000
8		最終表示	1 E (固定)
9		電文種別	1 正常時：M エラー時：R
10	(予約エリア)	3	(注 1)
11	(予約エリア)	110	(注 1)
12	宛管形式	1	Q (固定)
13	(予約エリア)	28	(注 1)
14	電文長	6	NACCS EDI 電文の長さを示す 000400～500000 (最大電文長は 500,000)

(注 1) 予約エリアは、システムの制御用に使用する。

③ 業務個別項目

管理資料情報一覧電文（正常時）における業務個別項目の設定内容を付表 11-9 に示す。

付表 11-9 業務個別項目（管理資料情報一覧電文）

項番	項目名		桁	設定内容	
1	処理結果コード		75	00000-0000-0000△～△ (先頭から 15 桁に処理結果コードが設定され、後ろ 60 桁はスペース)	
2	デリミター		2	<CRLF>	
3	管 理 資 料 フ ァ イ ル 名 (注 1)	出力情報コード(注 2)	7	管理資料情報を表す出力情報コードが設定される	
4		対象年月日	6	編集対象としたデータの年月日が設定される (yymmdd 形式)	
5		区切り	1	_ (アンダーバー)	
6		宛先利用者コード	5	宛先利用者が設定される	
7		区切り(注 4)	1	_ (アンダーバー)	
8		Subject (注 3)	最大 64	輸出入者コードなどが設定される	
9		区切り(注 4)	1	_ (アンダーバー)	
10		コピー元利用者コード (注 5) (注 6)	5	コピー元の利用者コードが設定される	
11		区切り	1	_ (アンダーバー)	
12		作成年月日時分秒	14	センターサーバで配信ファイルを編集した際のシステム年月日時分秒が設定される (yyyymmddhhmmss 形式)	
13		拡張子	4	.csv または .edi が設定される	
14		拡張子	3	.gz が設定される	
15		(予約エリア)	16		
16		デリミター(注 1)		2	<CRLF>
17		サイズ(注 1)		8	ファイルサイズ(単位: バイト)
18	デリミター(注 1)		2	<CRLF>	

- (注1) 管理資料ファイルが複数ある場合には、項番 3～18 が繰り返される。
なお、項番 3～14 は可変長である。
- (注2) パソコン用パッケージソフトで管理資料情報を取り出した場合は、パッケージソフトが出力情報コードを業務仕様書番号+管理資料情報名（日本語）に変換するため、以下のような体系となる。

業務仕様書番号+管理資料情報名（日本語） +対象年月日+_
+宛先利用者コード+_+輸出入者コード等+_+コピー元利用者コード等+_
+作成年月日時分秒.csv

(パソコン用パッケージソフトで変換された管理資料情報ファイル名の例)

I99 管理資料情報取出データ 081100_3ANTT_ABCDE_1ANTT_20081208091024.csv

- (注3) 一つの宛先に対し同じ管理資料情報をデータの内容に分けて複数のファイルとして出力する場合、及び随時報の場合に使用される。
- (注4) 項番 8「Subject」の前後にある”_”：アンダーバーは「Subject」が出力される際に一緒に出力されるものであり、「Subject」が出力されない場合には出力されない。
- (注5) ある利用者に配信された管理資料情報を別利用者に配信したい場合にのみ使用される。コピー元利用者コードの管理資料情報に「_Subject_」が含まれている場合、その内容が前に出力される。
- (注6) Subject が出力され、コピー元利用者コードが出力されない場合、アンダーバーが 2 つ並ぶことがある。

管理資料情報一覧電文(エラー時)における業務個別項目の設定内容を付表 11-10 に示す。

付表 11-10 業務個別項目 (管理資料情報一覧電文)

項番	項目名	桁	設定内容
1	処理結果コード	75	エラーを表す処理結果コード (先頭から 15 桁の処理結果コードが最大 5 回繰り返される。)
2	デリミター	2	<CRLF>

(3) 管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文の設定

①HTTP ヘッダー

管理資料情報一覧要求電文と同じ設定である。(付表 11-4)

②入力共通項目

管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文の入力共通項目の設定内容を付表 11-11 に示す。

付表 11-11 入力共通項目 (管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文)

項番	項目名	桁	概要
1	(予約エリア)	3	(スペースを固定設定)
2	業務コード	5	管理資料情報取出要求電文：?GTN△ (△は半角スペース) 管理資料情報再取出要求電文：?GTP△ (△は半角スペース)
3	(予約エリア)	21	(スペースを固定設定)
4	利用者コード	5	利用者コード、識別番号、利用者パスワードを設定し、 利用者の識別に使用する
5	識別番号	3	
6	利用者パスワード	8	
7	(予約エリア)	319	(スペースを固定設定)
8	システム識別	1	(2を固定設定)
9	(予約エリア)	27	(スペースを固定設定)
10	電文長	6	NACCS EDI 電文の長さを示す(入力共通項目を含む) 000530(固定)

③業務個別項目

管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文における業務個別項目の設定内容を付表 11-12 に示す。

付表 11-12 業務個別項目
(管理資料情報取出要求電文／管理資料情報再取出要求電文)

項番	項目名	桁	設定内容
1	ファイル名	128	取出しを行う管理資料ファイルのファイル名を設定する。 管理資料情報電文一覧の項目「管理資料ファイル名」に準じて、最大 128 バイトである。
2	デリミター	2	<CRLF>

(4) 管理資料情報電文の設定

①HTTP ヘッダー

管理資料情報電文における HTTP ヘッダーの設定内容を付表 11-13 に示す。

付表 11-13 HTTP ヘッダー (管理資料情報電文)

項番	項目	設定内容
1	ステータスライン	HTTP/1.1 200 OK<CRLF> HTTP バージョンは HTTP/1.1 を指定する。 正常応答の場合ステータスコードに 200 が設定される。
2	Date	メッセージ生成時の日付、時分秒が設定される。 (RFC1123 形式)
3	Server	送信サーバ情報が設定される。
4	MIME-version	NACCS では、“1.0” が設定される。
5	Content-Type	正常時は“multipart/mixed; boundary=任意の値” が設定される。 エラー発生時は、Content-Type:Text/plain; charset =EUC-JP<CRLF>が設定される。
6	Content-length	Content-length:nnn<CRLF> nnn に送信電文のメッセージサイズが設定される。

②出力共通項目

管理資料情報電文における出力共通項目の設定内容を付表 11-14 に示す。

付表 11-14 出力共通項目（管理資料情報電文）

項番	項目名	桁	概要	
1	(予約エリア)	3	(注 1)	
2	業務コード	5	処理要求電文と同じ業務コードが設定される	
3	出力情報コード	7	<ul style="list-style-type: none"> ・管理資料情報取出要求電文の正常応答または業務エラー応答：*C?GTN△ ・管理資料情報取出要求電文の共通エラー応答：*CCMSG△ ・管理資料情報再取出要求電文の正常応答または業務エラー応答：*C?GTP△ ・管理資料情報再取出要求電文の共通エラー応答：*CCMSG△ (△は半角スペース)	
4	電文受信日時	14	電文受信日時が設定される (yyyymmddhhmm△△)	
5	利用者コード	5	電文を受信する利用者の利用者コードが設定される	
6	(予約エリア)	211	(注 1)	
7	電	分割通番	3	000 (固定)
8	文	最終表示	1	E (固定)
9	制	電文種別	1	R (固定)
11	御情報	(予約エリア)	3	(注 1)
12	(予約エリア)	110	処理要求電文の設定情報がそのまま出力される。	
13	宛管形式	1	Q (固定)	
14	(予約エリア)	28	(注 1)	
15	電文長	6	NACCS EDI 電文の長さを示す 000477 (固定)	

(注 1) 予約エリアは、システムの制御用に使用する。

③業務個別項目

管理資料情報電文における業務個別項目の設定内容を付表 11-15 に示す。

付表 11-15 業務個別項目（管理資料情報電文）

項番	項目名	桁	設定内容
1	処理結果コード	75	正常時：00000-0000-0000 (先頭から 15 桁に処理結果コードが設定され、 後ろ 60 桁はスペース) エラー時：エラーを示す処理結果コード (先頭から 15 桁の処理結果コードが最大 5 回繰 り返される。)
2	デリミター	2	<CRLF>

④添付ファイル

正常時：BASE64 でエンコードされた管理資料情報が添付される。

エラー時：添付ファイルは存在しない。

8.2.3 管理資料情報ファイル名体系

以下に CSV 形式の民間管理資料情報のファイル名について説明する。

(1) CSV 形式の管理資料情報ファイル名 出力情報コード(①)

+対象年月日(②)+_+宛先利用者コード(③)+_+輸出入者コード等(④)+_
+コピー元利用者コード等(⑤)+_+作成年月日時分秒(⑥).csv

(2) パソコン用パッケージソフトで取り出された管理資料情報のファイル名（取り出し後にパッケージソフトがファイル名を変換して保存する） 業務仕様書番号+管理資料情報名（日本語）(①’)

+対象年月日(②)+_+宛先利用者コード(③)+_+輸出入者コード等(④)+_
+コピー元利用者コード等(⑤)+_+作成年月日時分秒(⑥).csv

- ① : 管理資料情報の出力情報コードを表す。
- ①’ : 管理資料情報の仕様が記載されている業務仕様書の番号と当該管理資料情報の日本語名を表す。
- ② : 編集対象としたデータの年月日を表す。
YYMMDD（YYは年の下2桁）形式。
※月報の場合はYYMM00、年報の場合はYY0000とする。
- ③ : 宛先利用者を表す。
- ④ : 輸出入者コードなどを表す。（任意出力）
※一つの宛先に対し同じ管理資料情報をデータの内容に分けて複数のファイルとして出力する場合に使用する。
※随時系の管理資料情報については、「ZUIJI__受理番号」または「ZUIJI__受理番号__通番」を付与し、データの内容によっては複数ファイルに分ける必要がある場合は、「ZUIJI__KEY情報（輸出入者コード等）__受理番号__通番」を付与する。ただしKEY情報を含めた結果、輸出入者コード等(④)のみで64桁を超える場合は、KEY情報そのものを連番に変え64桁以内で設定する。
- ⑤ : コピー元の利用者コードを表す。（任意出力）
※ある利用者に配信された管理資料情報を別利用者に配信したい場合に使用する。コピー元利用者コードの管理資料情報に「_輸出入者コード等_」が含まれている場合、その内容が前に出力される。
※輸出入者コード等(④)が出力され、本項目(⑤)が出力されない場合、アンダーバーが2つ並ぶことがある。（後述（例3）を参照）
- ⑥ : センターサーバで配信ファイルを編集した際のシステム年月日時分秒を表す。

（注）項目④の前後にある”_”：アンダーバーは項目⑤が出力される際に一緒に出力されるものであり、項目④が出力されない場合には出力されない。

以下に、自社システムで取り出す CSV 形式の民間管理資料情報のファイル名例を示す。

(例 1) 通常の日報配信管理資料情報の場合

(平成 20 年 12 月 9 日 4 時 50 分 12 秒に編集された 1ANAC 宛の管理資料情報
(日報) (データは 12 月 8 日分))

AAA9990081208_1ANAC_20081209045012.csv

└出力情報コード

(例 2) (例 1) の利用者の同管理資料情報を 3ANAC にも配信した場合

AAA9990081208_3ANAC1ANAC_20081209045012.csv

(例 3) ファイル名に輸出入者コード等を設定した月報配信管理資料情報の場合

(平成 20 年 12 月 8 日 9 時 10 分 24 秒に編集された 1ANAC 宛の管理資料情報
(月報) (データは 11 月分))

AAA9990081100_1ANAC_ABCDE__20081208091024.csv

: 輸入者 ABCDE の管理資料情報

AAA9990081100_1ANAC_FGHIJ__20081208091024.csv

: 輸入者 FGHIJ の管理資料情報

(例 4) (例 3) の利用者の同管理資料情報を 3ANAC にも配信した場合

AAA9990081100_3ANAC_ABCDE_1ANAC_20081208091024.csv

: 輸入者 ABCDE の管理資料情報

AAA9990081100_3ANAC_FGHIJ_1ANAC_20081208091024.csv

: 輸入者 FGHIJ の管理資料情報

8.3 異常時の対処

(1)HTTP ヘッダーの設定内容に起因するエラー

HTTP のリクエスト時にエラーが発生した場合の対処を付表 11-16 に示す。

付表 11-16 HTTP リクエスト時のエラーにおける対処

項番	メソッド	想定されるエラーと対処
1	POST	<p>HTTP のリクエストを行ったがセンター側管理資料情報サーバから応答がない。</p> <p><原因と対処></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宛先ポート番号が間違っている →80 番ポートに接続要求しているか確認する。 ・センターがメンテナンス中である。 →センターのメンテナンス情報は NACCS 掲示板に公開されているのでそれを確認する。メンテナンス中である場合、メンテナンス終了後に再度接続を行う。 ・センターサーバやネットワークが障害中である。 →暫くしてから再度接続する。長時間復旧しない場合は、NACCS センターのヘルプデスクに調査依頼を行う。 障害情報については、NACCS 掲示板にも掲載される。 <p>なお、接続試験用のサーバのメンテナンス情報、障害情報については NACCS 掲示板に掲載されないので、接続試験可能な時間帯にも関わらずサーバに接続できない場合は NACCS センターにセンターサーバの状況を確認すること。</p>
		<p>エラー応答（正常応答（200）以外）が返される。</p> <p><原因と対処></p> <ul style="list-style-type: none"> ①宛先 URL が間違っている。（403 または 404） →NACCS センターから通知された URL を指定しているか確認する。 ②HTTP ヘッダーに誤りがある。（400） →正しい HTTP ヘッダーを作成し再実行する。

8.4 その他

(1) 制限事項

利用者システムで管理資料情報取出しを行う場合は、以下の事項について守らねばならない。

- ① 利用者システムによる管理資料情報取出しは、アクセス回線が専用線接続、ADSL 接続、またはブロードバンド光接続である場合に限り利用可能となる。
- ② 利用者システムは、管理資料情報取出しサーバの容量の制約から、配信日時（以降）に速やかに取り出しを行わなくてはならない。
- ③ 一部利用者からの取出し要求集中に伴うレスポンス遅延を防止するため、自社システムの利用者は以下の事項を守る必要がある。
 - ・ 同一の自社システムからの取出しにおいては、同時に複数利用者の取出し要求を実施してはいけない。
 - ・ 同一利用者の取出し要求を同時に複数の帳票に対して実施してはいけない。

(2) その他注意事項

管理資料情報取出（自社システム）利用者は、以下の事項について注意する必要がある。

- ① システムの高負荷時には、全利用者からの電文の受信を停止するなどの運用制限をかける場合がある。この場合、NACCS センターから利用者に対し電話、FAX などにより連絡を行う。
- ② 大規模災害等で、バックアップセンターにて NACCS が運用される場合には、バックアップセンター用の管理資料情報取出サーバに接続すること。
- ③ 接続試験を実施するための環境は、バックアップセンターの一部に構築される。このため、大規模災害の発生等によりメインセンターに影響があった場合には、バックアップセンターによりシステム運転が実施されるため、接続試験が一部制限される場合がある。

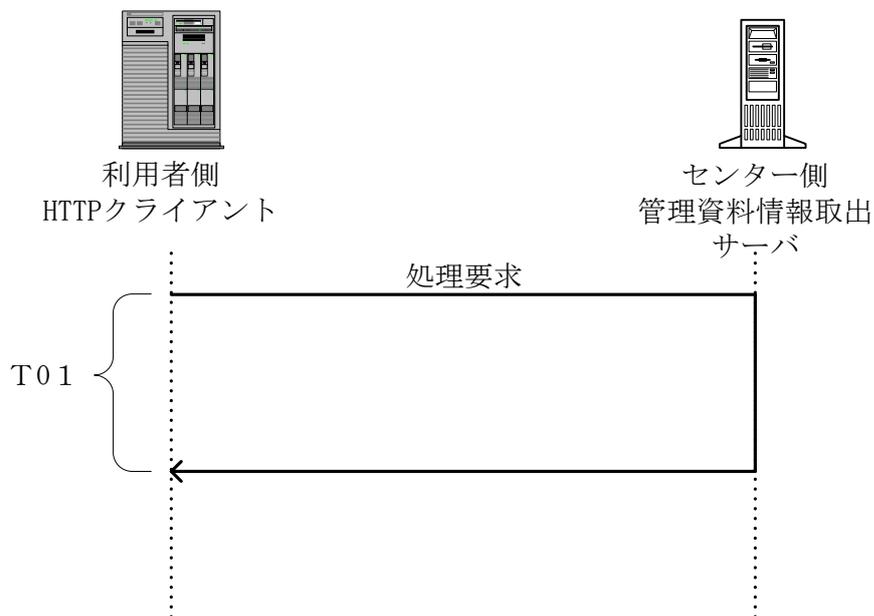
8.5 各種タイマー値

管理資料情報取出（自社システム）において規定するタイマー値を付表 11-17 に示す。また、各タイマーの設定箇所について付図 11-9 に示す。

付表 11-17 タイマー値

ID	監視内容	タイマー値
T01	利用者側送信時の利用者側端末とセンター側管理資料情報取出サーバの HTTP コネクション監視時間	利用者が規定

(注) 付表 11-17 の ID 欄に示す T01 は、付図 11-9 に示すタイマーの ID を示す。



付図 11-9 通常通信時のタイマー設定